

千葉県知事選挙

投票日：3月26日

ちば労連

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 303 号 URL 版 2017 年 2 月 28 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1 面】

角谷(すみや)で“すみやすい”千葉県へ

千葉県知事選挙

選ぶ会から角谷信一さん立候補を表明

「3つの夢」の実現を

14日に選ぶ会が記者会見

3月26日投票でおこなわれる千葉県知事選挙に「新しい知事を選ぶ会。(どっと)ちば」から立候補を表明した角谷信一(すみやしんいち)さんは、2月14日に千葉県庁で記者会見を開き、県政の流れを変える決意を語りました。会見では「新しい知事を選ぶ会。ちば」共同代表の関根由紀世さんが個人と団体が共同する会の性格を説明し「森田県政は県民の暮らしを考えていない。県民のために働く知事を誕生させたい」と話しました。

角谷さんは記者会見の中で「私には3つの夢があります」として、①受験競争と貧困で子どもたちが泣くことのない千葉県の実現、②ブラック企業で苦しむ人や過労死する人のない千葉県の実現、③高齢者や障害者、病弱者が孤独死する不安のない千葉県の実現を目指していきたいと語りました。

受験で苦しむ子どもをなくしたい

角谷さんは「千葉県では教育によって子どもたちが苦しめられ、ゆがめられている。これを正し、『学ぶことが要求』になる教育をつくりたい」と訴えます。

現在の千葉県の高校受験システムはゆとり教育の反動で『2回入試制』です。前期で定数の6割が合格し、4割が落ちます。全国的には2回入試のしくみはどんどん減って、現在は12県まで減



中学時代はギター部の部長をやり、それ以来ギターは手放せないと語る角谷さん。

り、首都圏では千葉だけです。「誰でも試験なしに高校進学が理想ですが、当面 2 回入試をやめて 1 回入試に切り替えます。あわせて次代を担う子どもたちに思いを馳せ、保育所増設・待機児童解消から義務教育、高校教育、県独自の奨学金拡充と子育てを応援します」と角谷さんは力強く語りました。



ブラック企業を根絶 貧困世帯へ支援

千葉県の高校教師がとりくんだ高校生 2515 人の『アルバイト体験アンケート』では、アルバイトをする理由として回答者の 51% が『生活費を稼ぐ』というものでした。こういった高校生を違法行為で食べ物にするブラックバイト・企業をなくしたいと角谷さんは話します。続けて「これらとたたかう力は、社会のマインドコントロール『自己責任論』で眠らされています。この状況の放置は進学率の低迷につながります。行政が率先して改善に動き、県民のたたかう力も応援することが求められています」と話しました。

ブラック企業を根絶 貧困世帯へ支援

角谷さんは、現在大阪の実家からひとり暮らしの実母をよび寄せ、介護保険を利用しながらの生活です。茨城県で暮らす義母のために、妻は週末 3 日ほど帰って介護

をしています。そういった体験も踏まえ、特別養護老人ホーム待機者の解消や、デイサービス・ショートステイなどの施設充実を公約に掲げています。「ますますの高負担で使い勝手も悪い介護保険制度のもとで、自宅などで高齢者が安心して暮らしていけるように、家族のみなさんの仕事と介護を応援する行政の支援体制が重要だと考えています。県立病院の存続・充実など医療体制の充実、国保財政への支援など、医療と介護を重視したいです」と話しました。

財政力指数が全国 4 番目の千葉県が、巨大開発に湯水のようにつぎ込み、医療や福祉予算が全国最下位クラスの現状を、何としても変える必要があります。知事選挙のことや角谷さんの魅力を広げに広げ、角谷で「すみやすい」千葉の実現に向け、千葉労連も総力をあげて奮闘します。

《角谷信一さんの略歴》

1954 年、大阪府生まれ。立命館大学卒業。高校教諭 38 年。国府台、若松、犢橋、千葉工業、磯辺の各県立高校に勤務。元千葉県高教組中央執行副委員長。

- 1983 年 『教員政策と青年教師』共同執筆
- 1985 年 『たのしくわかる日本史 100 時間 上』共同執筆
- 1986 年 『たのしくわかる日本史 100 時間 下』共同執筆
- 2003 年 『高校生と学ぶ、テロ・戦争 ビデオ教材が授業を変える…その実践記録』自費出版
- 2009 年 『絶対トクする！学生バイト術—クイズに挑戦「これだけは知っておきたい」働くルール』執筆
- 2009 年 『反貧困の学校 2 いま「はたらく、が危ない」』共同執筆
- 2011 年 「オトナへのトビラ TV・働く編」出演
- 2012 年 千葉大学教職課程で「主権者を育てる生徒会活動」、「働くルール」の授業を講義
- 2014 年 『ブラック企業に負けない！学校で労働法・労働組合を学ぶ』（第 1 章「ブラック企業に負けない力」を育てる授業）執筆
- 2017 年 「NHK スペシャル 見えない“貧困”～未来を奪われる子どもたち～」の取材協力

- 【新しい知事を選ぶ会、ちばの基本政策】**

 - ① 県民のいのちと暮らし、高齢者を大切に！
 - ② 子育て安心、若者に夢と希望を！
 - ③ 中小企業や農林漁業に光を！
 - ④ 全国 4 位の財政力をあなたの暮らしのために

波濤

米大統領がツイッター上でつぶやくことで世界中が振り回されている。無視するということ自体、すでに影響を受けているようで嫌な気分になる▼権力者の横暴をしばるための憲法は、権力者の立場でのつぶやきに対して、野放しにしない工夫をするべきだと思う。あるいは人類共通のルールが必要ではないか▼「新しい知事を選ぶ会. ちば」の知事候補者が発表された。労働組合活動では、県当局と賃金交渉等で渡り合う地公労共闘会議の仲間としてともにたたかった人である。当時からデータ分析力はすごいと思っていた▼この人のつぶやきは、人々を振り回すのではなく、いのちとくらしを大事にする県政のよりどころとなるはずだ。



【2面】

暮らし重視の県政を取り戻そう

春闘・知事選勝利決起集会

千葉労連は『17 春闘・千葉県知事選挙勝利決起集会』を 2 月 18 日、千葉市民会館でおこないました。集会には、『新しい知事を選ぶ会. ちば』の知事予定候補者、角谷信一さんが参加し、政策を訴え、また引き続き千葉駅前 17 春闘大宣伝行動にも参加しました。クリスタルドーム、フクロウ交番、千葉そごう前の 3 カ所に分かれ、大幅賃上げをはじめとする春闘課題を宣伝しました。

大幅賃上げが景気回復につながる

集会は、千葉労連の本原議長の主催者あいさつで始まりました。あいさつでは「17 春闘勝利とその実現のために、来たる 3 月 26 日投票日の千葉県知事選挙で私たち労働者の要求をかなえてくれる知事を選出し、諸要求を実現するために、これと結合してとりくむ。アベノミクスの破綻はすでに明らかになっている。その一方で大企業は内部留保を前年度から 13・5 兆円も増し積みしている。格差が広がり、1900 万世帯が貯蓄 0 円になった。日本のトップ 40 人の資産が、日本の人口の半分、6000 万人の資産と同等に。今の政権では、ますます格差が広がり、さらに加速されかねない状況だ。労働者の大幅賃金引き上げが、個人消費を増やし、景気回復につながる。17 春闘で大幅賃上げを勝ちとろう」と訴えました。

続いて山崎事務局長から、2017 春闘『知って、怒って、行動して、勝ちとろう国民のための政治と経済』と称して、情勢報告と春闘の展望と行動提起がありました。

その後、千葉労連顧問で、『新しい知事を選ぶ会. ちば』事務局の松本悟さんから『千葉が変われば日本が変わる』と称して、おなじみのテンポの良い『紙芝居』風のお話で、展望が語られました。とりわけ「今の時代は世界大戦前などではなく、王政に対する革命が欧州各国で連続した 1848 年に似てい



千葉駅前で宣伝物を配る参加者

る。当時と同じ「1%の者への富と政治権力の集中」に対する「制度的な変革が必要」と強調しました。

安心して働ける『働き方改革』を

そして『新しい知事を選ぶ会. ちば』の知事予定候補者、角谷信一さんは、「角谷で「住みやすい」千葉県をつくろう。私は、直前のこの2月まで働いてきて、県立高校教員を辞めた。千葉県の子育て、教育の環境を変えたい。全国4位の財政力指数をいかして、安心して子育てができ、若者が未来に希望がもてる千葉県に。これまで生徒に、独自に『労働基準法』など、働く者の権利の授業で教えてきた。すべての高校で正規の授業として

『労働基準法』を学ぶカリキュラムを実現させたい。偽りの『働き方改革』ではなく、労働者が安心して働き続けられる『働き方改革』を実現させたい。過労死等を知事が目を光らせて、ブラック企業を許さないとりくみを実現させたい。介護や福祉、高齢者が不安無く生きられる社会を実現させたい」など、政策の一部を熱く訴えました。

最後に自治労連、千葉土建、医労連から春闘の課題と知事選挙への決意表明があり、決起集会を終りました。その後、千葉駅前に移動し、約 80 人で春闘宣伝行動を展開。宣伝ではティッシュとともに千葉県版ビクトリーマップや全労連 17 春闘ビラなど、5000枚を配布しました。



知事選を巡る情勢を話す選ぶ会事務局の松本悟さん

労働相談一ヶ月～派遣会社の非常識～

習志野市に住む派遣労働者からの相談です。求人を見て派遣会社の面談に行きました。面談時の説明が求人に記載されているものと違うので登録をしないで帰宅しました。ところが、派遣会社から人が足りないので働いてほしいと連絡があり、東京の職場に働きに行きました。しばらく働いて、改めて登録のための面談を行うことになりました。時給が以前と違うので聞くと、東京と神奈川、埼玉、千葉はそれぞれ時給が違う、あなたの場合は、千葉に住んでいるので、千葉の時給が適用されると言われました。私の働いたところは、東京なので東京の賃金が適用になるのではとも、そういう決まりなのでという話でした。

この派遣会社は、都道府県ごとの最低賃金をもとに時給を決めているとのこと。最低賃金は、働いた都県の最低賃金が適用になります。したがって、相談者は東京都で働いているので東京の最低賃金である時給932円が適用になります。ところが、派遣会社の担当は、相談者が千葉に住んでいるので、千葉の最低賃金である842円をもとに時給を説明しています。最低賃金の知識がなく、説明しているのかもしれませんが。

相談者は、最低賃金の制度をインターネットで確認し、念のため電話相談で確かめたと言います。同時に、東京で働いた分は東京の最賃で支払う様に請求するとのことでした。もし支払いがない場合は、最賃法違反として監督署に申告する方法を教え、相談は終了しました。権利は行使しないとなくなってしまう。おかしいと思ったらすぐ県労連の組合または労働相談センターに電話しましょう。 【中林】